

難民問題授業 指導案

テーマ：「難民問題を前に、私たちに何ができるか」

<ねらい>

- 難民問題（現状・原因・支援策）について知る
- 私たちにできることを考える

ステップ	学習活動	学習内容
<p>事実を知る (15分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの自己紹介を聞く ・UNHCR とは何かを聞く ・難民とは何かを理解する（難民になりもの） 難民問題に関する写真を複数枚見て何を表す写真か考える ・なぜ難民が生まれるのか考えて発表する ・難民をとりまく状況についての説明を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・UNHCR は難民支援の国連機関であること ・難民とは、「ふるさとを追われ、国外に脱出し、あらゆる場面で不自由な状態に追い込まれた人々」であること ・紛争・迫害等の人災が原因であること（自然災害によって避難している人々を支援することもある） ・世界には 5950 万人以上の助けを必要とする人々がいること ・時に 20 年以上の避難生活が続くこと
<p>課題と出会う (10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちより難民にあるもの写真を見て考え、発表する ・私たちにも難民にもあるもの写真を見て考え、発表する ・難民にはどんな支援が必要か、写真を見て考え発表する 	<ul style="list-style-type: none"> ・たくましさや助け合う気持ちなど、真の意味での生きる力を難民の人々は持っているということ ・命や未来や希望などは等しく持っており、難民も私たちと同じ人間だということ ・栄養のある食事、安心して住めるところ、教育、心のサポートなどが

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難民を減らす方法について知る 	<p>必要であること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帰還・庇護国での定住・第三国定住が解決策としてあること
<p>課題に対する考えを持つ (15分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「難民問題解決のためにできること」を考える 今自分にできること 将来の自分にできそうなこと 日本の社会にできること <p>まずは自分で考え、次に班で共有、最後にクラス全体で共有する。 ゲストティーチャーは、生徒たちの意見に対してフィードバックをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ CSR（企業の社会的責任）としてユニクロの衣料品支援や広報活動の場所の提供などがあること（将来自分にできること、日本の社会にできることに関連して） ・ 寄付、啓発活動など、個人として年齢、社会的立場を問わずできることがあること（今の自分にできることと関連して）
<p>まとめ (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲストティーチャーの話を聞く <p>難民支援に関わるやりがい、考えたこと、感じることを話す</p>	

計 45分